

きぼう

ほっかいどう やかんちゅうがく かい
「北海道に夜間中学をつくる会」
かいほう ばんばー
会報 No. 2

「つくる会」の今年ことしの主な歩おもみあゆ (会報No. 1 以降いこうの報告ほうこく)

- 2008・01・13 だい かいじむきよくかいぎ
第8回事務局会議
- ・23 しぎかいぶんきょうい くどうきょうどうだいひょう ちんじゆつ
市議会文教委で工藤共同代表が陳述
- ・26 第9回事務局会議
- ・30 第10回事務局会議
- 02・07 しきょういまどぐち きょうぎ かくにん
市教委窓口との第3回協議(市議会文教委での審議内容の確認)
- ・16 第11回事務局会議
- ・22 第12回事務局会議

(2 ページにつづ続く)

旭川遠友塾が開校



入学式に
は「つくる
会」からも
祝電を打
つて、開講
のお祝いを
述べまし
た。

戦争や病気などで十分に教育を受
けられなかった人たちが学ぶ「旭川
遠友塾」(古野博明代表)が四月二十
六日に開校、上川教育センターで
入学式Ⅱ写真(北海道新聞から)Ⅱが
行われました。自主夜間中学は道内
二つ目の開講です。
一期生は二十五人。教科は国語、数学、
英語の三教科で、毎週土曜日に同センタ
ーで学んでいます。

じしゅやかんちゅうがく うんえい ささ さんじよかいいん ぼしゅう
「自主夜間中学旭川遠友塾」では運営を支えてくれる賛助会員を募集して
ひとくちせんえん ゆうびんふりかえ こうざばんごう
います。一口千円で、郵便振替の口座番号は 02740-5-45067 です。

(1 ページから続く)

- 02・22 市教委に星園高校の教室利用要望を追加提出するための第1回「つくる会」「遠友塾」合同事務局会議
- ・26 市教委に星園高校の教室利用要望を提出
- 03・09 映画「こんばんは」上映(かでの2・7)
- ・13 市議会第一予算特別委員会(長谷川市議質問)を傍聴
- 03・15 第13回事務局会議
- ・28 市教委と回答に向けた事前協議(生涯学習推進課の岩井課長ら3人)
- 04・07 要望の正式回答を市教委に申し入れ
- ・16 道教委と初の協議(公立夜間中学設置での基本認識確認)
- ・23 第14回事務局会議
- 05・15 要望に対し市教委が正式回答(加藤生涯学習部長名)
- ・25 第2回定期総会(「ちえりあ」にて)。「つくる会」会報 No.2発行

☆主な協議・交渉のまとめ☆

◇札幌市議会関係

「つくる会」および札幌遠友塾が札幌市議会に、①札幌遠友塾に対する教室の提供と財政支援 ②公立中学校夜間学級を札幌市に設置すること一を求めた陳情書を提出したことに対し、1月23日の市議会文教委員会で工藤共同代表が陳情内容や背景について陳述しました。遠友塾受講生やOB、スタッフなど36人が傍聴する中、10分を越える熱弁となりました。

工藤代表は遠友塾が18年目を迎え受講希望者がますます増えていること、週1回の授業回数を増やしてほしいとの要望や、中国帰国子女や新渡日の人たちへの対応などもあり、民間ボランティアでは物理的、財政的に限界にあることを切々と訴えました。そして、先進的な取り組みをしている北九州市や京都市などの夜間中学の視察と、その札幌市のあるべき対応を要望しました。

陳述の審議において、各文教委員は市教委当局に対し、市の基本的認識・立場などを質問しました。

市教委は「遠友塾の活動は重く受け止めている」との認識を示し、学校の空き

教室提供は調査した結果、現状では難しいが、まとめた数でなければ相談しながら要望に応えられるようにしたい、他市の実態調査については現在進めている段階、と述べました。しかし、教育文化会館使用料の半減措置以外の具体的支援や公立夜間中学設置への明確な回答はありませんでした。

また、3月13日の市議会第一予算特別委員会でも遠友塾支援があらためて取り上げられました。生涯学習部長は、①希望

されている条件の学校施設の利用、使用は、なかなか難しい状況、②希望されているような交通至便地では、専用の使用可能な施設は困難、③専用的に使用できる教室を探すにあたっては、もう少し地理的な範囲を広げて考えられないか、などと答弁し、市教委から両団体の意向の確認を含め、具体的な協議を進めたいと述べました。

◇札幌市教委関係

前述の市議会文教委員会での陳情審議を受けて、審議内容を確認する話し合いを申し入れました。それは2月7日に行われ、その席上で、札幌遠友塾の要望

「こんばんは」上映会に100人

夜間中学校の記録映画「こんばんは」の上映会を、3月9日に「かでる2・7」で行ないました。道教委や市教委、民主団体の後援を取り付けての開催です。参加者はスタッフも含め約100人で、民主党、市民ネット、共産党の市議の方も見えられました。

上映後は遠友塾の桑山玉枝さんが、遠友塾へ来るまでの苦しかった人生や、今の学びの喜びなどを語り、参加者の涙を誘う場面もありました。

映画のDVD、VHSができました



「こんばんは」全国上映普及委員会では、個人視聴用として映画のDVD=写真=、VHSを製作しました。30人以内の集まりでは無料で使っていいそうです。どちらも1本3000円（送料別）

で、問い合わせ、購入希望は以下の全国上映普及委員会へ連絡を。 TEL・FAX 03-3408-1335

（教室を使わせてもらいたい）、3月末に正式回答を行うと話されました。この回答には、札幌遠友塾の受講生も含めて受けるため、市教委にその事前準備の話し合いを申し入れました。

それは3月28日に行われました。その話し合いは、生涯学習部の担当者が異動するため、これまでの要望に対する市教委の引き継ぎと回答への現況説明でもありました。しかし、この現況説明は、市教委の正式回答ではなく、改めて生涯学習部長が文書で正式に回答するよう求めました。

その結果、要望に対する市教委の正式回答と説明が5月15日に行われました。ここでも当初は、前回の現況説明を繰り返すばかりでしたが、参加した受講生たちの切実な声に、今後、学校との空き教室交渉などには私たちも入り市教委と一体となって進めることを約束するなど、初めて前向きの姿勢を示しました。以下が主な点です。

- お年寄りを通いやすい地下鉄大通り駅を中心に500メートルの範囲で、高校を含め19校の校長へ調査したが、現状での空き教室提供は難しい。しかし、まとまった数でなければ、相談しながら要望にこたえられるようにしたい。
- 大通り高校利用については、不登校や帰国子女などに開かれた学校がコンセプト。学校運営に支障が無い限り視聴覚教室などを一般開放していきたい。
- 他市調査は特別予算には組まないが、通常予算の中で現地調査を行いたい（15日の正式回答の際、学校の教室を使っている北九州市の自主夜間中学に視察に行くことが明らかになった）。
- 「つくる会」などとの協議窓口一本化については、市教委の中で一本化し部局横断的な形で対応する。
- 星園高校は平成20年度に2教室が空くが、4教室の要望など専用的に使うには条件に合わない。平成22年度には所管が市教委から離れ、継続利用にも責任が持てない。
- 教室の利用について、その提供は学校長が裁量権限である。学校長が権限に基づいて下した判断に、基本的に市教委がどうこう言うものではない。

◇道教委関係

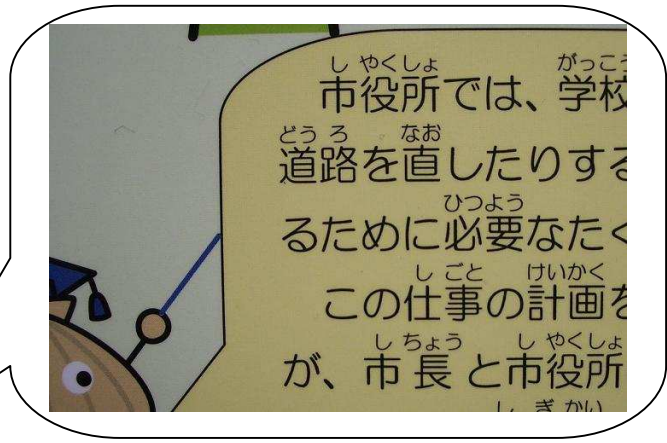
道教委に対しては昨年6月26日に5項目の要望書を提出して以来、具体的協議を行っていませんでした。そこで公立夜間中学設置での基本認識を確認するた

め4月16日に担当窓口と初の話し合いを持ちました。

確認点は、【公立夜間中学について】①設置主体と認可②受講対象者の資格③就学援助、【自主夜間中学について】①借りる学校施設が道立の場合②その際の減免措置③就学援助—などです。

【公立夜間中学について】①道教委側は、中学の設置主体はあくまで市町村である。道立の中学校は法的（教育法38条）に無理と考える。設置の申請を受ける立場であり、申請があれば指導、助言、協力をする②尋常小学校卒業者や尋常高等小学校中退の資格について、中学進級に年齢制限はなく設置者か校長の判断になる。中国残留孤児の場合も同じ。就学免除者・猶予者の再就学は想定外。形式卒業者も義務教育修了者なので受け入れは難しい。生涯学習として対応すべきだ③就学援助の場合、交通費などの申請先は居住市町村か札幌市かは、他地区から通学は想定されていないので分からない—との回答でした。

【自主夜間中学について】①教室を貸すかどうかは校長判断。直接交渉を妨げるものではない②借りた場合、水道光熱費等はかかるが教室使用料はない。教室以外の施設では社会教育の一環としてなら減免も可能だろう—とのこと。



※札幌市議会を見学に来た子供たちなどに配る、市議会の仕事や仕組みを説明した下敷きに、「ふりがなが」が付けられました。



ほうどう
放送された
遠友塾のニュースが
見られます

やかん
夜間、**ねっしん**
熱心に学ぶ**えんゆう**
遠友
かぐしや
塾生の姿が、テレビ各社

http://video.nifty.com/cs/user/video_profile/detail/uid_0000008317/
I.htm

が、ホームページは、
すす写真。長いのです
ためて見ることができま
ツトの投稿サイトであら
番組をネットの投稿サイ
したが、これらの番組を
で報道されてきました
ていしつご とだよしみし か
の提出後に戸田芳美氏に代わりまし
た。説明不足だったことをお詫びしま
す。

ていせい ぜんごう
◇訂正 前号(No.1)の事務局体制
かいけいかん さ にいの さゆり
で会計監査に「新野小百合」とあるの
は「早百合」の誤り、5ページ「市議
会関係」の第4定例会答弁で「松平教
育長」とあるのは「奥岡教育長」の誤り
でした。また「資料②」の道議会への
請願書の中で、紹介議員の佐藤英道
氏は文教委員のため、議会事務局へ
の提出後に戸田芳美氏に代わりまし
た。説明不足だったことをお詫びしま
す。

ほっかいどう やかんちゅうがく かい
「北海道に夜間中学をつくる会」ホームページ

<http://yakanchugaku.enyujuku.com/>

さっぽろえんゆうじゅくじしゅ やかんちゅうがく
「札幌遠友塾自主夜間中学」ホームページ

<http://enyujuku.com/>

「きぼう No.2」発行日 2008年5月25日